

# 学生納付特例の申請をお忘れなく!

20歳以上の学生の方へ

## ■学生納付特例制度（学特）とは

学生で本人の前年所得が基準以下の場合、申請により在学期間中の保険料納付が猶予（先送り）される制度です。

本制度を受けた期間は受給資格期間に算入されるため、老齢基礎年金やいざというときの障害基礎年金、遺族基礎年金の受給資格を得ることができます。

## ■平成29年度分の学特の受付が始まります

4月より平成29年度（平成29年4月～平30年3月）の学生納付特例の申請受付が始まります。

申請に必要な物▶年金手帳（お持ちの方）、印鑑、学生証のコピー（有効期限記載面まで）または在学証明書（原本）

申請場所▶市民課または福井年金事務所

その他▶過去2年（申請月の2年1か月前の月分）までさかのぼって申請ができます

## ■平成28年度に学生納付特例制度を受けている方

日本年金機構より、学生納付特例制度更新ハガキが4月上旬頃に郵送されます。必要事項ご記入の上、期限までにポストへ投函してください。また、平成29年2月中旬以降に保険料の納付猶予が承認された方についてはハガキの郵送時期が5月以降となりますが、この場合は更新のハガキを待たずに、4月中に前もって新年度分の申請用紙を提出していただいても構いません。

※在学期間などの変更がある方など、新たに申請が必要な場合があります

## 過去に学制納付特例制度を受けた方

老齢基礎年金の金額を計算するとき、保険料の納付免除や猶予の承認を受けた期間がある場合は、保険料を全額納付した場合と比べて年金額が低くなります。10年以内であれば保険料を納付（追納）し、老齢基礎年金額を増やすことができます。追納にはお申し込みが必要ですので、下記までお問い合わせください。

市民課（市役所1階） ☎88-8102

福井年金事務所 ☎0776-23-4516

## 恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク



野外恐竜博物館で地層を観察する様子

## —第22回— ジオパーク学習

勝山市の小中学校では、ジオパーク学習を実施しています。教科書を使って教室で学ぶことも大事ですが、実際のもに触れ、野外での体験を通して学ぶこともとても大切です。今年度は9～11月にかけて、成器南小学校、成器西小学校、三室小学校、村岡小学校、野向小学校、鹿谷小学校、勝山北部中学校で行いました。

山や地震、地層についての授業があります。かつて勝山にあった火山の痕跡を見学に行きました。この活動をを通して、地層や石について学べるだけでなく、歴史や文化、植物など幅広く取り入れるように心がけています。例えば、北谷町谷にある伊良神社。ここは一向一揆の時に一向宗徒が立てこもった城「谷城」の跡だと言われています。この伊良神社では市の天然記念物に指定されているケヤキの群生が見られます。学校での別の授業で習ったことを活かして、ケヤキの落ち葉を観察したり、植物の紅葉・落葉について考えたり、樹齢を推定したりしました。また、伊良神社から石畳道を下ると不動滝があります。不動滝で見られる地層は、恐竜化石が見つかる手取層群の地層です。

地域の自然や歴史・文化に触れ、体験を通していろいろなことを学べるのがジオパーク学習です。来年度も、工夫を凝らして、たくさん子どもたちにジオパークを通して、勝山の魅力、自然の魅力を知ってもらいたいです。

ジオパークまちづくり課（市役所2階） ☎88-8126



## のえみ's English Column

### I have been looking forward to the Katsuyama Sagicho Festival!

Since it became winter, I have been looking forward to the Katsuyama Sagicho Festival!

On Sunday, many of the other ALTs from different places in Fukui were able to come to Katsuyama City. It was a very special day because it was some people's first time going to a Japanese festival. We enjoyed the traditional performances from the yaguras as well as the dondoyaki.

We were also able to go on top of a yagura and hit the taiko which was very fun.

I am very happy to have experienced many new things at Sagicho Festival.

冬になってから、勝山左義長まつりをずっと楽しみにしていました!

日曜日は福井県の色々な場所に派遣されていたALTの方々も勝山に来ていました。初めて日本のお祭りに行く人もいて特別な日になりました。みんなで櫓からの左義長ばやしやどんどこ焼きを満喫しました。櫓に上がって太鼓を打つ体験もできてとても楽しかったです。

左義長まつりでは新しいことをたくさん経験できて良かったです。

未来創造課（市役所2階） ☎88-1115



浮き太鼓に初めてチャレンジ!

## 禁煙治療について

JCHO福井勝山総合病院 内科部長 小澤 眞二

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックをきっかけにタバコ規制が強化されようとしています。これは、国際オリンピック委員会（IOC）が「タバコのない五輪」を目指しているからで、これまでの五輪開催国は「屋内全面禁煙」となっています。愛煙家にとってはますます肩身の狭い時代になりそうです。

このようにタバコ規制が叫ばれるのは、タバコが喫煙者自身（能動喫煙）に健康被害を起こすのはもちろん、その周囲の人（受動喫煙）にも健康被害をおよぼすからです。タバコが原因あるいは増悪因子となる病気は、喉頭がん、肺がん、食道がんなどすべてのがん、脳梗塞・狭心症・心筋梗塞など血管の閉塞する病気や高血圧症、肺気腫・慢性気管支炎・喘息などの慢性肺疾患、妊娠異常などキリがありません。

能動喫煙による死亡者は年間約13万人と推計されていますが、厚生労働省の研究班は昨年、受動喫煙による死亡者が年間1万5000人にのぼると発表しました。1万5000人といえば、1年間に交通事故で死亡する人の3倍以上ですが、受動喫煙を原因とする

乳幼児突然死症候群の死者も含まれています。

愛煙家は「タバコ税を払っているから」と喫煙を正当化しがちですが、実は医療費やタバコの火の不始末による火災・吸い殻の清掃にかかる費用などの損失は、タバコ販売であるが利益の2倍以上といわれています。

最近、電子タバコや加熱式タバコが話題になっていますが、依存性物質であるニコチンを含む電子タバコもあるようですし、加熱式タバコはタバコに火をつけないだけで、ニコチンをはじめとする様々な有害物質を摂取することになります。

近年、喫煙は「ニコチン依存症」という病気と認識されるようになり治療の対象となって医療保険も適応されています。禁煙する際に生じるニコチンの禁断症状を和らげる薬剤が開発され、楽に禁煙できる時代になりました。

当院には、禁煙を支援する禁煙外来があります。タバコをやめたい方、やめたいと思っっているのになかなかやめられない方、ご相談ください。

フリーカ・デ・ふかやでも禁煙外来があります。

健康長寿課 ☎87-0888

## JCHO-Column